発行 香川県西讃農業改良普及センター

普及センターだより

〒769-1503 香川県三豊市豊中町笠田竹田 438-1
TEL. 0875-62-3075 FAX. 0875-62-5353
E-mail. seisannokai@pref.kagawa.lg.jp
西讃普及センター 検索
https://www.pref.kagawa.lg.jp/seisannokai/index.html

発行日
2026.10.1
第189号

西讃地域の輝く担い手紹介⑫

農事組合法人 一ノ谷生産組合（観音寺市古川町）

～新たな担い手とともに歩む～



観音寺市で活動する農事組合法人一ノ谷生産組合（代表 細川 和稔氏〈写真後列右〉）は、農業者の高齢化や混住化の進行により、農地の荒廃が懸念されるなか、「田んぼが荒れていくのを見ておれん」という農業者の使命感から平成 30 年に設立されました。

組合員は、それぞれ自作地で水稲や野菜を栽培する一方、組合としても地域の農地を守るため、水稲や麦類の栽培のほか、稲刈り、ブロッコリー定植などの作業受託にも精力的に取り組み、地域農業の下支えをしてきました。しかし、組合員の高齢化や後継者不足により、農地を将来にわたって維持していくことに不安を感じるようになってきました。

そこで、組合では、外部からの人材確保に向け、普及センターに相談していたところ、県内外の農業法人での研修を経て令和９年度から西讃地域での就農を目指していた高見澤 雄太さん（写真前列左）と出会いました。高見澤さんは、「組合の農業機械利用」や「組合が集積し活用している農地での営農」に協力することで合意し、現在、一ノ谷地区での就農準備を進めています。

さらに組合では、高見澤さんの加入に向けた話が進む中、若手同士で地域農業を支え合う体制も必要と考え、高見澤さんと同様に県外から移住し、一ノ谷地区で野菜生産に取り組んでいる宮下 直大さん（写真前列右）に声をかけたところ、協力に賛同が得られ、令和８年８月９日、組合の臨時総会を経て二人が新たに加入することとなりました。

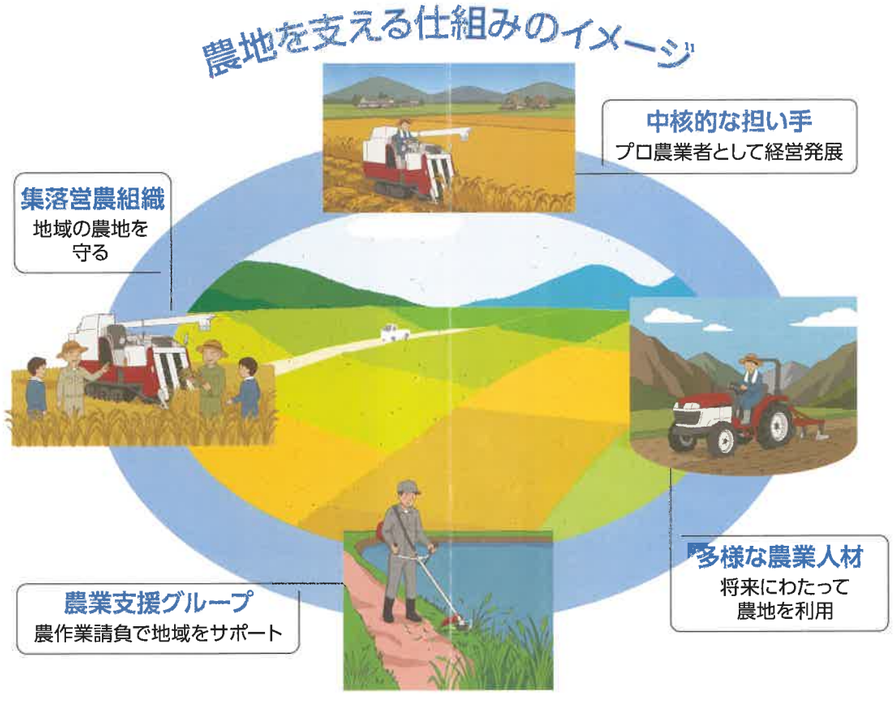
代表の細川さんは「今後も地域住民との関わり方や栽培技術等を伝えながら、若い担い手を支えていきたい。近い将来、一ノ谷の農地を長く守り続けていってくれることを期待している」と語ってくれました。

西讃地域の農業を支える多様な担い手　～地域全体で農地と農業を守る～

西讃地域には、農業の中心を担う大規模な農業法人や認定農業者、新規就農者など、多くの担い手が存在します。しかし、香川県は基盤整備率が40%程度と低く、狭小でいびつな農地は効率的な利用が難しいため、すべての農地を大規模経営体だけで維持することは困難です。

条件の悪い農地を守ってきた小規模農家も、高齢化や経営悪化により継続的な管理が難しくなっています。こうした状況が耕作放棄地の増加や地域農業の生産力低下を招いています。

そういった問題に対処すべく、西讃地域では、**「集落営農組織」「農業支援グループ」「多様な農業人材」**の確保・育成を強力に推進しています。



高齢化や農業機械の高騰などを背景に、各経営体間で「労働力」や「農業機械」などの利用調整を行い、連携を図っていくことが重要になりつつあります。普及センターでは、連携の支援も行ってまいりますので、ご相談ください。

集落営農組織「地域ぐるみで農地を守る」

期待される役割

- 農地の面的管理（地域全体をカバー）
- 米・麦など土地利用型作物の生産
- 農業機械の共同利用でコスト削減
- 兼業農家など幅広い住民の参加
- 地域内での農地利用調整

➡担い手だけでは維持困難な農地を、地域で支える仕組みを構築

普及センターの支援

地域農業の維持発展を図るため、関係機関・団体と連携しながら、集落営農組織育成のための啓発や座談会開催支援、組織強化のための若返りやスマート農業導入を推進しています。

また、認定農業者や農業法人など中核となる担い手などとの持続可能な連携を促進しています。

管内の集落営農組織数：39（うち集落営農法人：4）

紹介　農事組合法人 立石



「地域の田んぼは、地域の者で守ろう」を基本理念に、米・麦・ブロッコリーを栽培しながら、集落の認定農業者と農地の融通や作業委託で連携しています。現在、作業は70～80歳代の6名で実施していますが、兼業農家向けの「ジュニア研修」で若手を育成中です。生じた利益の配分は、最低賃金以上の従事分量配当（R7年度実績1,600円/時）を確保しつつ、次世代につながる機械投資などで、持続可能な経営を目指します。

多様な農業人材「小さな農地も守る」

期待される役割

兼業農家、定年帰農者、半農半Xなどが、認定農業者・集落営農組織では担えない狭小・不整形農地での営農も意欲的に行い、地域の農業・農地を守っていく。

普及センターの支援

普及センターでは、このような農家や人材を**「多様な農業人材」**として認定しており、認定を受けた方の規模拡大や新たな品目の導入など技術面の支援のほか、補助事業を活用した農業機械・施設の導入など経営計画の達成に向けた取組みを支援しています。

管内の多様な農業人材認定者数：89

紹介　近井 和浩 氏



地域の農業者の高齢化による不作付地の増加を受け、冬場の林業を行う傍ら、本格的に農業に取り組んでいくため、令和6年に「多様な農業人材」の認定を受けました。

農地を預かってほしいという依頼がさらに増えるなか、効率的な作業をするために「多様な農業人材支援事業」を活用してウイングハローを導入、丁寧な農地管理に努めています。

現在は水稲3.3haを作付し、今後も増やしていく見込みです。また、近隣酒造メーカーの地域振興の取組みに共感し、山田錦を減農薬・有機質肥料での特別栽培米として生産しています（R8に「みどり認定取得」）。

今後も、試行錯誤しながら、地域の農地維持に努めていきます。

農業支援グループ「作業を補完し、地域農業を支える」

期待される役割

- 農地保全・草刈り作業の受託
- 耕起・田植え・稲刈りの作業支援
- 集落営農・多様な農業人材を側面支援

➡作業労力を補うことで農地の耕作放棄を防止

普及センターの支援

グループ立ち上げに向けた助言・指導を行うとともに、補助事業活用や広報チラシの作成などで運営を支援しています。

管内の農業支援グループ数：6

紹介　日の出保全会



地域の耕作放棄地解消と農地再生を目指し、兼業農家や非農家で構成する農作業受託グループです。夏はロータリーカッターによりため池堤防の草刈り、冬はハウス撤去を含む荒廃農地の再生。その後の農地管理の提案も行っています。

来年度は田植機を導入し、田植えが難しくなった農業者の農地管理を支援するとともに、非農家の構成員への操作指導や若手メンバーの受入れを進め、次世代を育成します。



受賞おめでとうございます

令和7年播き香川県高品質麦生産コンクール

◆個人の部◆

香川県農業協同組合理事長賞	大西	毅彦（観音寺市）
香川県農業協同組合中央会会長賞	石川	豊（観音寺市）



第47回香川県野菜立毛品評会

農林水産大臣賞	【レタス】	久保	宜幸（観音寺市）
農林水産省中国四国農政局長賞	【にんにく】	豊谷	慶二（観音寺市）
香川県農政水産部長賞	【レタス】	髙橋	健太（観音寺市）
	【ブロッコリー】	浅野	美帆（観音寺市）
株式会社日本農業新聞会長賞	【レタス】	曽川	直昭（観音寺市）
香川県農業協同組合中央会代表理事会長賞	【にんにく】	大西	敏之（観音寺市）
	【ブロッコリー】	石山	智章（観音寺市）
香川県農業協同組合経営管理委員会会長賞	【レタス】	藤川	亜由美（観音寺市）
	【にんにく】	袁	月華（観音寺市）
	【ブロッコリー】	亀野	裕樹（三豊市）
香川県農業協同組合代表理事理事長賞	【レタス】	大平やさい株式会社（観音寺市）	
公益社団法人香川県青果物協会理事長賞	【レタス】	田中	壱斉（観音寺市）
香川県野菜花き生産者研究会会長賞	【レタス】	矢野	修司（観音寺市）
	【いちご】	三谷	憲幸（観音寺市）

第15回香川県園芸振興貢献表彰

香川県農業協同組合代表理事理事長賞	【レタス】	大西	尚（観音寺市）
	【にんにく】	山木	孝三（観音寺市）

※敬称は省略させていただいております

香川県西讃農業改良普及センター公式LINEのお知らせ

・病害虫発生情報
・各種講習会、セミナーのご案内
・農業関係補助事業など農業者の皆様に有益な情報を発信しています。

友だち募集中！

農業経営課公式インスタグラム　フォローをお願いします！

かがわ農業経営infoでは、病害虫の発生予報や気象災害時の技術情報をはじめ、県域・各地域のトピックスや研修会の案内など、農業に関する様々な情報を日々発信しています！

こちらの
二次元コードから、
ぜひご覧ください！

KAGAWA_NOUKEIINFO